



2026年5月連休前工事連絡会用 【安全衛生課】工事安全のお願い

2026年3月26日 安全衛生推進室 安全衛生課

類似災害の再発防止の徹底





2026年度 5月連休前工事連絡会用 【安全衛生課】工事安全のお願い

1. 工事の事故事例と対応
2. 直近の他社死亡事故事例
3. 工事ハンドブック改訂 予定情報
4. 2026年度 安全大会のご案内

**類似災害
再発防止**

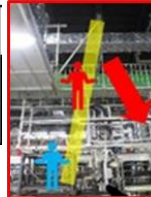
1. 工事の事故事例と対応

類似災害
再発防止

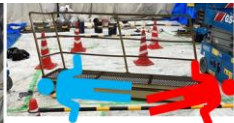
(1) 工事業者 事故件数



2023・2024年度 忘れてはいけない重大災害



梯子がクッションになって転落



- 集塵機を撤去、降ろそうとしていた
 - 集塵機が引っ掛かって降りなかった
 - 高所作業車から歩廊に移って確認
 - 高さ6mの歩廊と一緒に落下した
- ※歩廊は集塵機に仮着接のみだった



事故件数が多いが、今年度は死亡事故に繋がる重大災害が起きていない
→ 工事業者・工事計画部署の努力、様々な取り組みの成果

1. 工事の事故事例と対応

(2)2026年1月からの事故事例

2026年1月16日(金)
新大泉工場：腰椎骨折

ダンプアップ走行 足場接触

土工事の根切り作業において、残土をダンプで運搬中、ダンプアップして残土を降ろした。作責から電話があり電話に集中してしまい、ダンプアップした状態のまま走行した。

建屋の外部足場開口部に荷台が接触し、ダンプ運転席がウイリーした状態で浮き上がり、運転席が地面にたたきつけられ腰を痛めた。



過去に
ユニックでの類似災害あり

2012年8月20日 大泉工場
トラックドライバー腰椎骨折 (休業・物損)
設備工事ユニックムーブ戻し忘れで走行して、工水配管へ接触、ウイリーして着地した際に怪我。

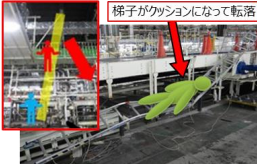


2024年8月14日 大泉4工場前 物損のみ
設備移設工事にてフォークリフト移動中、ユニックムーブ戻し忘れで走行して、工水配管へ接触した。



過去の災害が生かされていない

2023年8月7日 本工場1トリム
梯子転落 全治3ヶ月休業災害
【状況】8mの梁に梯子を掛け、掛け代が少なく梯子がズレて前倒しになり、作業員がそのまま梯子の上に落下した事故事例。



2026年1月17日(土)
本工場西本館：左踵骨折

窓清掃後 脚立 (梯子) 転落

西本館東側窓ガラス清掃委託業者。昼休憩のため、ゴンドラから移動をして計画外で西本館出入口屋根から梯子で降りようとした際、バランスを崩して飛び降りて落下した際に左足踵を強打した。

※梯子の固縛、補助員なし
※委託業者だったので、工事ハンドブック適用外→事故後から適用

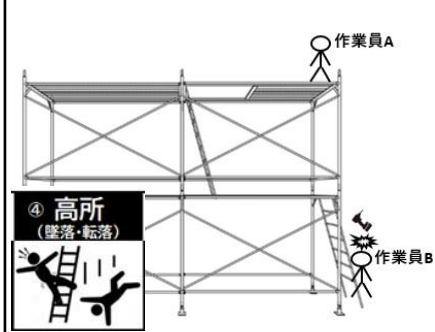


2026年3月12日(月)
大泉工場：重大ヒヤリ

高所からインパクト落下

高さ5mの足場において、腰ベルトに装着していた電動インパクトが足場に当たり腰ベルトから外れ、足場下の作業員Bの頭に当たった。

・電動インパクトは腰ベルトにフックで繋がれていたが外れた
・作業員Bはヘルメット着用、痛み・異常なく、病院でも異常なし



1. 工事の事故事例と対応

(3)2025年度 SUBARU安全活動

| ① 動力 (挟まれ・巻入れ) | ② 重量物 (接触) | ③ 車両 (接触) | ④ 高所 (墜落・転落) | ⑤ 電気 (感電) | ⑥ 高熱物 (熱・爆発) | ⑦ 酸欠 |
|--|---|---|--|---|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |

【重大危険源 7 活動】

【2025年6月法改正】
熱中症の恐れがある労働者を早期発見し、社内で報告するための体制を整備するほか、重症化を防ぐための応急処置や医療機関への搬送などの手順を事前に作成するよう求める。また、こうした点に関係する労働者に周知することも義務化される。

一歩間違えば重大な事故に発展する7つの重大危険源

➔作業・リスクを洗い出しして重大災害を防ぐ



2026年度 5月連休前工事連絡会用 【安全衛生課】工事安全のお願い

1. 工事の事故事例と対応

2. 直近の他社死亡事故事例

3. 工事ハンドブック改訂 予定情報

4. 2026年度 安全大会のご案内

**類似災害
再発防止**

2. 直近の他社死亡事故事例

類似災害
再発防止

(1) I 社販売店での高所からの転落

| | | | | | | | |
|------------|---|---|------|-------------------------|-----|----------|----------------|
| 区分 | 労働 通災 | | 発生日時 | 2026年2月26日(木) AM 10時8分頃 | | | |
| 災害発生事業場・職場 | サービスセンター | | | | | | |
| 被災者 | 性別 | 男 | 年齢 | 勤続 | 年 月 | 現業務の経験年数 | 年 月 |
| | 職種 | 技能系・技術系・一般事務・サービスマニッパ・営業 <u>その他(外部業者)</u> | | | | | |
| | 雇用形態 | 正規・非正規(期間工・パート・再雇用・研修生・派遣・請負・その他(<u>外部業者</u>)) | | | | | |
| 発生概要 | 勤務形態 | 常昼・昼夜2交代・連続2直 <u>その他</u> | | | 属性 | | — 組合員 — 非組合員 — |
| | 事故区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 非常定作業中 <input type="checkbox"/> 定常作業中 <input type="checkbox"/> 業務上の交通事故 <input type="checkbox"/> 通勤時の交通事故 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 調査中 | | | | | |
| 負傷の程度 | 左肩強打・頭部より出血等 意識不明の状態での病院へ搬送され、搬送先の病院にて死亡が確認された | | | | | | |
| | 交通事故の場合 | 二輪・四輪・自転車・歩行 その他() | | 事故時の着用 | 未着用 | | |

◇発生状況

【施工業者によるテント型洗車場の屋根を覆うシートの補修作業、施工期間1日】
 ①洗車場内に高所作業車設置し、シート破損開口部より被災作業員1名及び補修箇所を覆う製作シートを屋上に上げた(高さ約5m)
 ②高所作業車を油水分離槽北側に移動し、作業員1名はバケット上から、もう1名の作業員は西側キュービクルが設置されている高所より製作シートの位置調整の指示を出していた

◇発生原因(確認・推定)

同僚2名の指示により、単独作業で製作シートの移動調整中、古いシートを踏み抜いたと思われる、落下した(3名ともにヘルメット未着用)

◇略図◇



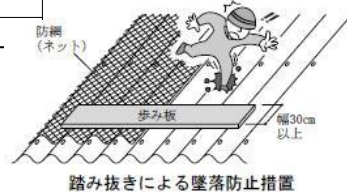
【労働安全衛生規則に則った対応例】

①作業床(足場)を設置する

又は、踏み抜き防止(歩み板)の設置をしなければならない

②ヘルメット(墜落保護用)の着用徹底

③親綱を設置して、墜落制止用器具(安全帯)を使用する



SUBARUでも過去に類似災害有

5-1-1 スレート等の屋根上の危険防止

スレート、木毛板等の材料でふかれた屋根の上で作業する場合は、幅が30cm以上の歩み板を設け、防網等を張るなど踏み抜きによる危険を防止すること。

【死亡事故事例】

2013年には群馬製作所にて、工事業者様による転落死亡事故発生。禁止エリアを歩行して屋根を踏み抜いた。



2. 直近の他社死亡事故事例

類似災害
再発防止

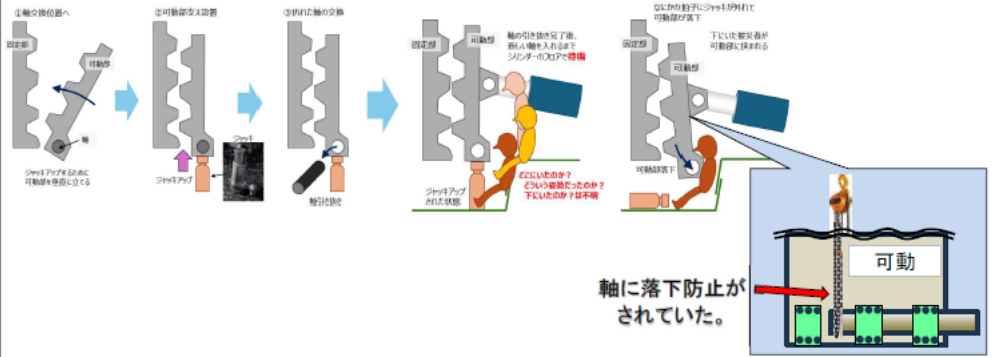
(2) T社系企業での挟まれ

| | | | | | | | | | | |
|-----------------|--------------------|------|-------------------------------|---------|------------------------|------------------------------|----|------|------|-----|
| 区分 | 労災 | 発生日時 | 2025年 9月 27日 (土) 11時 30分ごろ | | 発現場所 | プレス、鑄・鍛造、熱処理、研磨 (環折り工程) | | 発生概要 | 事故区分 | 時間帯 |
| 被災者 | 性別 | 年齢 | 勤続 | 業務経験 | 職種 | 雇用区分 | | 勤務形態 | | |
| | 男性 | 41歳 | 10年以上 | 10年以上 | | 外部業者 | | | | |
| 負傷の程度 (死傷病名) | 外傷性失血死 | | 安全 ルール | 有無 有 | 決められたルール 重量物の落下防止措置 | | 状態 | | | |
| リスクレベル 評価結果 | IV. 安全上重大な問題があるレベル | | | | | | | | | |

1. 発生状況

8:00 環破碎装置支点軸交換作業を開始 (外部業者4名)
 11:30頃 支点軸抜き取り完了
 11:35頃 環破碎装置可動部 (重量約4トン) が落下し、腹部を挟まれ被災

2. 状況略図



最終報 (発生日から1ヵ月以内を目安)

3. 発生原因

- 1) 工事計画段階で発注者が工事手順やリスク評価を見切れていなかった。
- 2) 落下防止措置未実施を見抜けなかった。
- 3) 作業責任者が計画通りの作業をさせることができなかった。

4. 対応状況

- 1) 工場長・部長による工事計画書のチェックを実施。発注者へOJTで教育を実施していく。
- 2) 部長以上によるパトロールの実施。リスクの高い作業は重点で監視を行う。
- 3) 工事支援プロジェクトを立ち上げ、工事業業者へ教育・指導・支援を実施していく。

5. 組合としての実施事項

- 1) 再発防止に向けて労使で確認した具体的な内容
 - ・なぜ工事計画段階で手順やリスクの評価を確認することができなかったのか原因を追及
- 2) 上記内容に関して、組合として関与し取り組んだ具体的な内容
 - ・工事業務に携わる職場を対象にヒヤリングを実施。
 - ・一人を抱える工事件数が多く、工事計画書を見切れていないなどの困りごとを会社へ共有。
 - ・『安全は何よりも最優先』を伝えるために緊急安全啓発活動を実施。
- 3) 類似災害未然防止の観点で気を付けて欲しいポイント
 - ・工事計画書の手順に基づくリスクに対して適切な対策を講じること。
 - ・工事計画情報の正確な把握 (グループ会社で今回の災害を受け外来工事管理システムを発足)

実はSUBARUも他人事でない

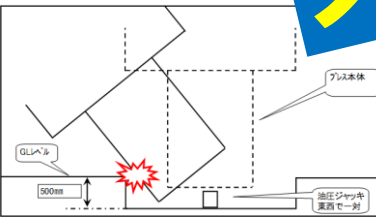
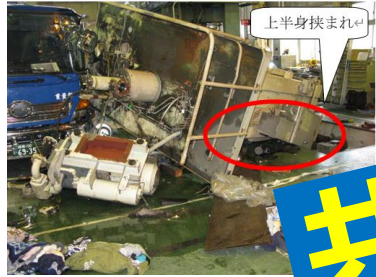
2. 直近の他社死亡事故事例

類似災害
再発防止

(3)過去のジャッキアップ事故事例

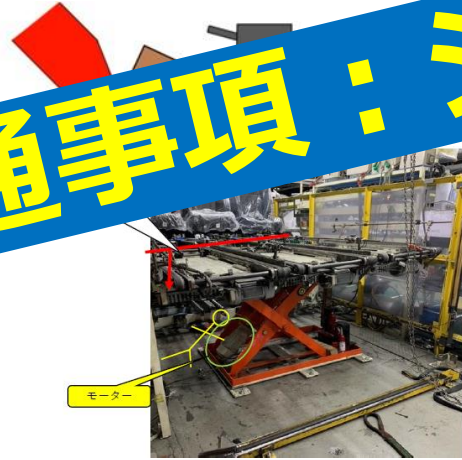
2014年9月19日(金)
T C試作棟 上半身挟まれ

プレス移設 ジャッキアップ時
プレス機械をピットからGLバルまで移動させるため、500mmピットから油圧ジャッキを使い持ち上げる。ほぼ、GLバルまで持ち上げた所で、プレス機械が転倒し被災者が挟まれる。



2022年8月5日(金)
本工場 1トリム 腰椎骨折

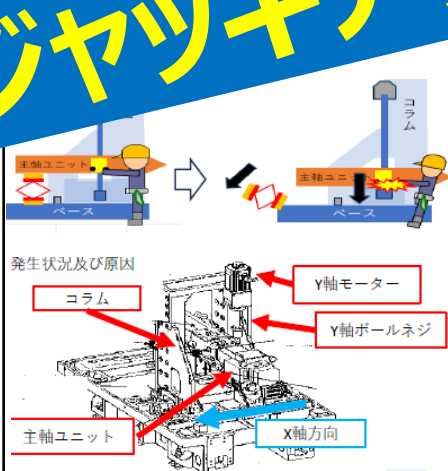
リフターメンテ ジャッキアップ時
シートストレージ(北)側の投入リフターの昇降モーター交換を実施していた。モーターを取り外した際に、リフターの落下防止2ヶ所の内の片側が外れてしまい、リフターが斜めになった隙間に挟まってしまった。



2024年12月1日(日)
大泉4工場 左手人差し指骨折

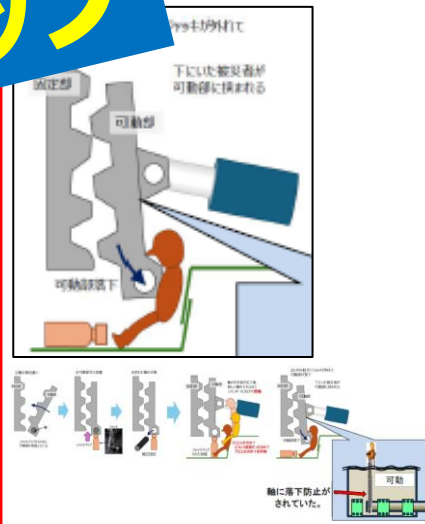
加工機メンテジャッキアップ時
マシニングセンターを外部業者でY軸ボールネジ交換を実施。

作業完了後に芯出し不良が発生し、調整中にジャッキアップした固定部が落下し、調整中の作業員が指を挟まれた。



2025年9月27日(土)
T社系 胸部挟まれ

粉碎機 ジャッキアップ時
工事中に堰破碎装置の可動部(約4トン)が落下し、機内作業員(課長職)が胸部を挟まれ死亡した災害。



共通事項：ジャッキアップ

2. 直近の他社死亡事故事例

(2) SUBARU 機械の挟まれ防止措置（2重の落下防止）

設備基準

群馬地区設備・機械安全基準 別紙 2026年2月版(35/99)

2-1-5 設備、機械の挟まれ防止装置

- 定義
工場で使用する装置・機械で、メンテ及びトラブル復旧の際に作業員が挟まれることを目的とし、規定する。
- 規定範囲及び設置基準
作業者が挟まれるリスクのある箇所を特定し、適切な位置に落下防止装置を設置すること。
- 製作基準
 - 落下防止装置
 - 落下防止装置は、作業員が挟まれる箇所を確実に覆い、落下防止に織り込む事。
 - 落下防止装置は、作業員が挟まれる箇所を確実に覆い、落下防止に織り込む事。
 - 落下防止装置は、作業員が挟まれる箇所を確実に覆い、落下防止に織り込む事。
 - 落下防止装置は、作業員が挟まれる箇所を確実に覆い、落下防止に織り込む事。

図2-1-4-1 (ピンを挿す構造) 図2-1-4-2 (ポストを立てる構造)


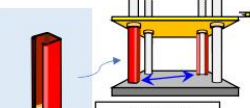
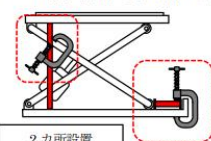




図2-1-4-3 (吊れる構造) 図2-1-4-4 (突っ張り棒とその外れ止め)

工事ハンドブック

工事ハンドブック 2025年10月版 24/60

- 『ロックアウト』の運用について
取引先は「工事ハンドブック（別紙5）」を参照し実施すること。
- 機械の挟まれ防止装置について
落下(重力)による作業者の挟まれ災害を防止するため、最低限1つの落下防止をした上で、リスクアセスメントに基づき、必要に応じて追加の落下防止を実施して、安全を担保すること。



【ピンを挿す】 【支える】 【吊る】 【突っ張り棒・外れ止め】 【抱かせる】

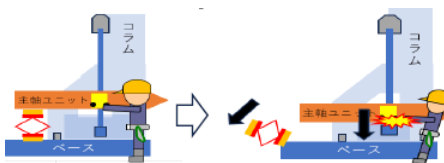
保全員が挟まれた再発防止
2023年8月 設備基準へ追加

保安全工の業者が挟まれた再発防止
2025年7月 工事ハンドブックへ追加

2022年8月5日(金)
本工場1トリム 腰椎骨折
リフターメンテ ジャッキアップ時



2024年12月1日(日)
大泉4工場 左手人差し指骨折
加工機メンテ ジャッキアップ時



2. 直近の他社死亡事故事例

類似災害
再発防止

(3) ジャッキアップ作業での徹底事項

ジャッキアップは仮設昇降装置 → 非常に不安定

- ・ジャッキアップ作業⇒4RKY
- ・ちょっとした作業でも⇒吊る



ジャッキアップ時は、絶対に設備へ触れてはいけない
※設備の下へ潜ることは論外！！

Copilotで生成

2. 直近の他社死亡事故事例

だから・絶対に必要

(4) SUBARU各基準の2重の落下防止

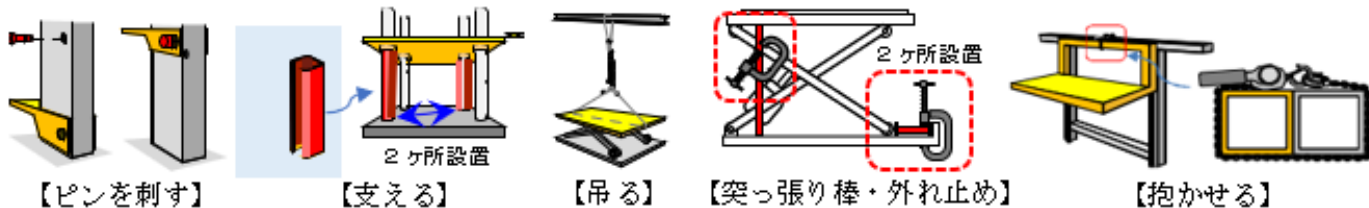
工事において仮設昇降装置の使用は否めない ➔ **2重の落下防止**

不安定・そもそも落下防止でない

3. 機械の挟まれ防止装置について

落下(重力)による作業者の挟まれ災害を防止するものは、**2重の落下防止**をすること。

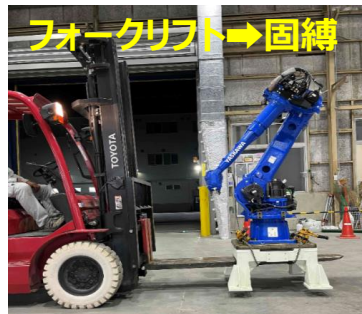
但し、スペースが狭い等で2重の落下防止が実施できない場合は、最低限1つの落下防止をした上で、リスクアセスメント・KY(工事計画部署が承認)を実施して、安全を担保すること。



【事故による具体的対応例】

- ・ジャッキアップ ➔ ワイヤーで吊る、接地させる等
- ・フォークリフトで上げる ➔ 固縛する
- ・吊り上げた重量物 ➔ 床へ設置させる

(昇降装置 ➔ 標準の落下防止機構 + **下から支える or 上から吊る**)





2026年度 5月連休前工事連絡会用 【安全衛生課】工事安全のお願い

1. 工事の事故事例と対応
2. 直近の他社死亡事故事例

**類似災害
再発防止**

- 3. 工事ハンドブック改訂 予定情報**
4. 2026年度 安全大会のご案内

3. 工事ハンドブック改訂 予定情報

(1)2026年7月1日 改訂



| 防火警報機設置区分 | | 各区分で使用できる工具事例 | | | | |
|-----------|---|---------------|---|---|---|--|
| S | A | B | C | D | E | |
| 火 | × | △ | △ | △ | ○ | 防火警報機設置区分の区分番号 ○…火警中継装置で使用可能 △…火警中継装置以外で使用可能 ×…設置禁止 |
| 火花 | × | △ | △ | △ | ○ | |
| 電動工具 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 防音防振 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

各区分で使用できる工具事例

| 区分 | 電動機具 | 電動機具 | 電動機具 | 電動機具 | 電動機具 |
|------|----------|--------|--------|--------|--------|
| 火 | ハンコクリンター | 高圧洗浄機 | 電動ドリル | 電動サンダー | 電動サンダー |
| 火花 | ハンコクリンター | 高圧洗浄機 | 電動ドリル | 電動サンダー | 電動サンダー |
| 電動工具 | 電動ドリル | 電動サンダー | 電動サンダー | 電動サンダー | 電動サンダー |
| 防音防振 | 電動ドリル | 電動サンダー | 電動サンダー | 電動サンダー | 電動サンダー |

ブラッシュアップ

①火気ルール もっと明確化

②構内常駐業者等も工事ハンドブックを対象

③その他明確化多数

※工事ハンドブック改訂WGで検討中

➡困りごとがあれば声掛けください

3. 工事ハンドブック改訂 予定情報

4 R K Yの実施・有効活用をお願い

- 今年度は4RKYの効果もあり
重大災害が極めて少ない

➡効果があるため、確実な継続

- 5月連休中も巡視を行うので、
4RKYの状態を確認します。

➡掲示板に掲示・周知ください

| 4RKYの状況 | 対応状況 | 4RKYの状況 | 対応状況 | 4RKYの状況 | 対応状況 |
|---------|------|---------|------|---------|------|
| 4RKYの導入 | 〇 | 4RKYの活用 | 〇 | 4RKYの維持 | 〇 |
| 4RKYの更新 | 〇 | 4RKYの廃止 | 〇 | 4RKYの廃止 | 〇 |
| 4RKYの廃止 | 〇 | 4RKYの廃止 | 〇 | 4RKYの廃止 | 〇 |



2026年度 5月連休前工事連絡会用 【安全衛生課】工事安全のお願い

1. 工事の事故事例と対応
2. 直近の他社死亡事故事例
3. 工事ハンドブック改訂 予定情報
4. **2026年度 安全大会のご案内**

**類似災害
再発防止**

4. 2026年度 安全大会のご案内



挨拶



SUBARU
安全衛生課長

八木橋 健也

【2025安全大会】主催者挨拶（安全衛生課長）

【仮計画中】
2026年7月3日(金)PM～
@オンデマンド公開予定

【案内展開】

- ①メールアドレス登録済者へ配信
- ②工事計画部署から展開
- ※2026年6月上旬を目安

メールアドレス登録フォームQRコード：





類似災害の再発防止の徹底

Thank You!



SUBARU